



# 国連WFP(国連世界食糧計画)とは? ~私たちの募金がどう支援活動につながるのか~

会場参加27名 組合員会館で視聴9名 個人宅からのウェブ参加25名 DVD視聴参加50名 (いずれも組合員活動委員)

「国連WFP」は、飢餓のない世界を目指して活動する国連の唯一の食料支援機関です。飢餓が起こる原因は大きく分けて、①紛争 ②気候変動による自然災害 ③食料の価格高騰があり、現在は新型コロナウイルス感染症拡大による影響も大きい原因のひとつです。世界の飢餓人口は最大で8億2800万人と言われ、全世界の人口の10分の1の人々が十分な食料が得られない状況にあります。

2021年度に行なった国連WFPによる食糧支援は86か国・1億2820万人(1961年に設立以降過去最大)におよび、紛争・自然災害・パンデミックなどの緊急支援のほかにも、「母子栄養支援」「学校給食支援」「自立支援」など、いま支援することによって未来の支えになる活動も行なっています。

「国連WFP」とは、いったいどんな団体で、どのようにして支援活動されているのかをお聞きしよう、国際連合世界食糧計画WFP協会(略称:国連WFP協会)から事務局のおふたりを招いてお話を聞きました。

生協の商品案内カタログでも目にする「レッドカップキャンペーン」は、この「学校給食支援」にあたります。給食支援を行うことで、子どもたちが栄養のある給食を食べることができ、それが将来の生活を支えることにも繋がります。

2022年度 第1回 推進学習会 2022年7月15日



ゼネラルマネージャー 森 常恭さん



アシスタントマネージャー 松本 聡子さん



7月13日 つだ地域活動委員会 津田駅前集会所 参加者10名(いずれも組合員活動委員)

## プラスチックごみの分別リサイクルを学ぶ



講師は枚方市ごみ減量推進課の、熊給さんと西田さん

コロナ禍での家庭ごみの現状を学ぼうと、枚方市ごみ減量推進課の出前講座を依頼。昨年、つだ地域活動委員会でも取り組んだ「プラごみ調べ」での学びを深める学習会になりました。



回収されたプラごみは人の手や磁石・液体などで異物を除去した後、粉碎されて再利用できる「フレーク」「ペレット」「ポリエステル繊維」などになります



プラごみとして出されたこの袋の中に「容器包装プラ」でないものが入っています。どれでしょうか?

リサイクル法」。商品を作るメーカーも、プラごみを減らすために、以前は全体がプラスチックだった容器を、フタだけは紙にするなど同じ商品でも変わっていることがあります。プラごみに紙の混入などなるべく避けるために、捨てる側も表示をよく見て分別してくださいね」と熊給さん。ごみを出す市民の正しい分別がリサイクルの第一歩となることも再認識できました。



## 2022 ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ オンライン開催

主催：日本生活協同組合連合会(日本生協連)

### ピースアクション in ヒロシマ 被爆の証言



当時2歳だった山田寿美子さんは、疎開先で被爆、父母を亡くし原爆孤児となりました。「当時の私は幼すぎて記憶には無いですが、後から被爆者の方たちに聞いた恐ろしい状況のなかに、私の両親もそこに居たということに今でも心が痛みます。大人になってからは医療ソーシャルワーカーとして働き、被爆者の生活に寄り添ってきました。核兵器を無くすために、核被害者のために、私自身もあと何年生きられるかわかりませんががんばっていきたいと思います」



NPT再検討会議の期間中に開催された、国連本部での「原爆展」の様子

「虹のひろば」の時間には、アメリカ・ニューヨークで8月1日〜26日の日程で開催され、日本からも代表団が参加している「NPT再検討会議」の様子が紹介されました。

広島県生協連・長崎県生協連と日本生協連は、被爆体験の継承や核兵器のない世界への思いを共有する場として、毎年「ピースアクション in ヒロシマ・ナガサキ」を開催しています。今年も昨年に引き続きコロナ禍のため集会は行わず、オンラインでのライブ配信と公開動画の配信があり、全国から約9100人が視聴しました。

## チャレンジしよう!

チャレンジは3日間! 項目を減らしてチャレンジしやすくしたよ!

## 「家庭の容器包装プラごみ・使い捨てプラごみ調べ」

### 調べ方

- ①「記入票」「提出用紙」をダウンロードし、調べる期間を決める
  - 連続3日間をご自分で決めてチャレンジ!
- ②記入票に書き込む
  - 容器包装プラスチックと使い捨てプラスチック製品をごみとして捨てたとき、その数を該当する欄に「正」の字などで記入。
- ③提出用紙に記入し回答する
  - 調べ終わったら、提出用紙にごみの合計数や感想などを記入し、それをもとに回答専用フォーム(下記参照)から入力するか、もしくは提出用紙にて回答したものを返信。
  - 回答いただいた内容は、個人が特定されない形で集約し、機関紙「ぼるタイム」および、大阪消団連webサイトで結果を発表します。



【申し込み締め切り】10月8日(土) 【提出締め切り】10月28日(金)  
【応募方法】右の二次元コードから「記入票」「提出用紙」をダウンロードしてください。「記入票」「提出用紙」の郵送を希望される方はお電話でご連絡ください(提出時の返信用封筒も同封いたします)。



組合員サービスセンター ☎ 0120-299-070 FAX 0120-299-230  
携帯からは072-856-7671(有料)  
(月・土9:00~17:00 火~金9:00~18:00)

主催：大阪府生活協同組合連合会・全大阪消費者団体連絡会・地球環境市民会議(CASA)